

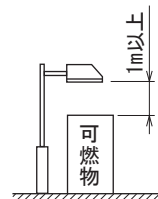
■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）
■この器具には、ランプ・安定器は同梱しておりません。ご使用の際には、適合するランプ・安定器を別にお求めください。

施工説明 工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書にしたがってください。
取付に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 電源線接続の際は、取扱説明書にしたがって行ってください。
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災の原因となります。
- 器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書にしたがって行ってください。
指定以外の取付を行うと火災・感電・器具落下の原因となります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。（D種接地工事）
アースが不完全な場合は、火災・感電の原因となります。
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- この器具（屋外用）は、海岸に近い塩害地域には使用できません。早期の錆発生・落下の原因となります。
- この器具は、振動の激しい場所、腐食性ガス雰囲気のある場所には使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用しないでください。
湿気の侵入による絶縁不良・火災・感電の原因となります。
- 器具の前面ガラスより1m以内に可燃物を置かないでください。また駐車場や広場などで使用される場合、照射位置に可燃物（トラックのホロ・樹木の枝葉など）が入らないようにしてください。火災・焼損の原因となります。

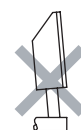
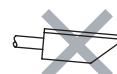
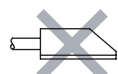
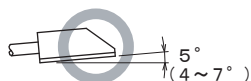


注意

- 器具（安定器・ランプ）の定格電圧と電源電圧（定格±6%）、使用地域の周波数は、器具の取り付けの際に必ず確認してください。間違えて使用しますと、ランプ安定器等の短寿命・火災の原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。
- 風速6.0m/s以上の場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 積雪10.0cm以上の場所では使用しないでください。そのまま使用されますと落下の原因となります。
（使用する場合は必ず除雪を行ってください。）



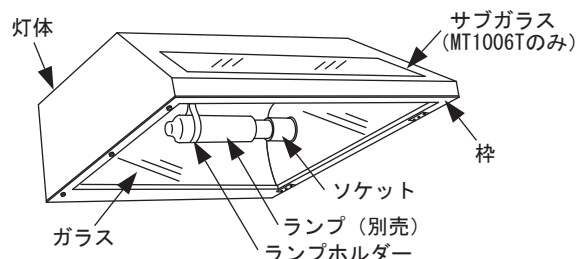
本器具は適合のポール・ジョインター（各別売）と組合せて使用することにより、所定の性能および品質が得られるように設計されておりますので、ジョインターを改造して器具の取付角度を変更したりすると、器具への浸水の原因となります。必ず適合ポール・ジョインターを組合せてご使用ください。
（ジョインターは丸形ポール用／角型ポール用と2種類あります。）



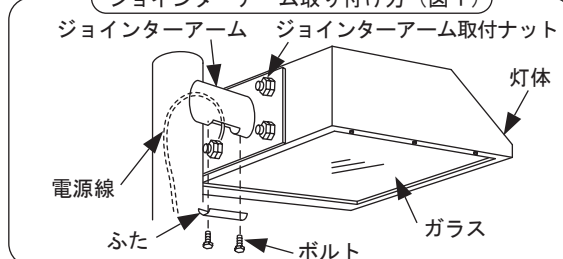
各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

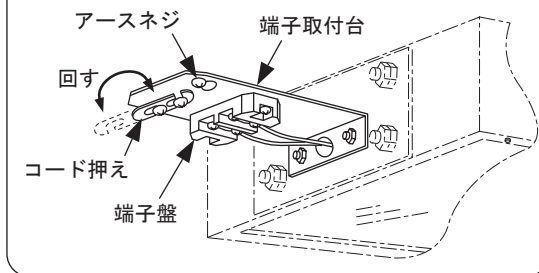
- 1、ジョインター取り付けナットを器具より外す。
- 2、ジョインターアームに取り付いているふたを外し開口部より電源線を引き出す。（図1）
- 3、ジョインターに器具を取り付ける。
●ガラスに注意してください。
- 4、端子盤に電源線（アース線はアースねじ部へ）を結線する。（図2）
- 5、コードオサエ固定ねじをゆるめてコード押えを片側に回した状態で作業する。
- 6、結線作業後コード押えにて電源線を固定する。
- 7、電源線を固定後アーム開口部にふたをねじ止める。
- 8、器具取り付けナット（4ヶ所）およびふた取り付け（2ヶ所）ねじ（ボルト）とも締め付けは十分に行う。
- 9、枠固定の止めねじ（3ヶ所）を⊖ドライバーでゆるめて枠を静かに開ける。（図3）
- 10、ランプ（別売）をソケットに組み付ける。組み付けの際にはランプをランプホルダー（輪形の形状）に入れ位置を決めてからランプ口金部をソケットにねじ込む。



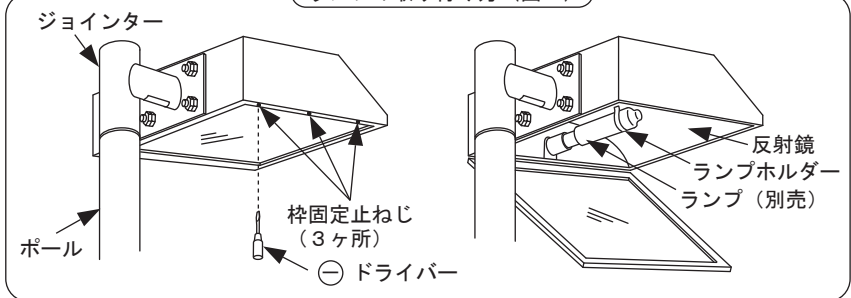
ジョインターアーム取り付け方（図1）



端子盤の接続 (図2)



ランプの取り付け方 (図3)



取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

警告

- ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書にしたがって行ってください。火災・感電・落下の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたままランプの交換を行うと、ランプ始動のためソケットには、2 K～6 K Vの高電圧パルスが発生しており、この高電圧パルスの電撃により墜落事故・感電の原因となります。
- ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類、ワット (W) 数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因となります。
- ランプ交換等によりランプを外し再度取り付ける場合には、取扱説明書により確実に行ってください。取付に不備がありますと水、水気の浸入により絶縁不良・感電およびランプの落下の原因となります。

注意

- 点灯中および消灯直後はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際には必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。使用条件・使用環境で異なりますが、8～10年が交換の目安です。

お手入れ・ランプ交換

必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。



禁止

みがき粉・アルカリ性薬品・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。
また器具の水および洗剤での丸洗いや、ホースなどを用いて下側から直接水を吹きかけて器具を水洗いしないでください。器具への浸水・傷つき・変形・変色・サビの原因となります。
点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっておりますので手を触れないでください。やけどの原因となります。



必ずしてください

ランプ・反射鏡・ガラスがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。
ランプを掃除する際はランプを器具から外して乾いた布でふいてください。

お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は、ランプを確実に取り付けてください。取り付けに不備がありますと、落下してけが・物損の原因となります。

ランプ交換の際にはH I Dランプ (メタルハライド・S C)、ガラスバルブTバルブ (別売) を必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、ランプの不点灯、安定器の焼損・器具の変形・変色・火災の原因となります。

適合ランプ

MT1000B/BH-SC (直管・透明形)

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店 (工事店) にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のとこに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。